Couchbase Capella ワークショップ

ラボハンドブック

ラボ 1: SQL++/N1QL

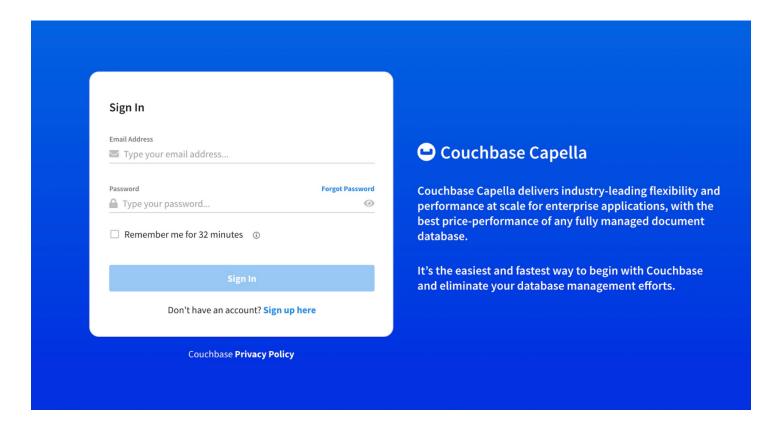
概要

このセクションでは、Couchbase Capella でクエリを実行する方法について説明します。 次の手順を実行します。

- 1. クエリワークベンチ画面構成確認
- 2. クエリワークベンチで N1QL クエリを実行
 - a. ビジュアル クエリプランの確認
- 3. カバリング インデックスの作成
- 4. クエリ再実行
 - a. ビジュアル クエリプランの確認

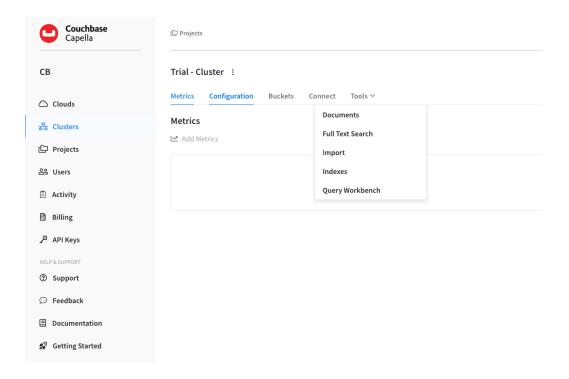
サインイン

cloud.couchbase.com からサインインします。



ステップ **1:** クエリワークベンチ画面構成の確認

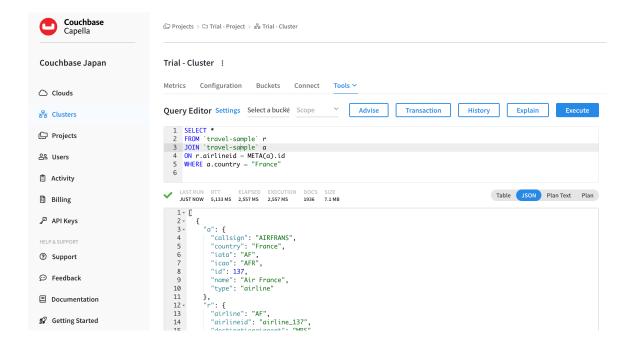
[Tools]ドロップダウンから[Query Workbench]を選択して、クエリ ワークベンチにアクセスします。



以下のN1QLクエリを入力して実行します。

```
SELECT *
FROM `travel-sample` r
JOIN `travel-sample` a
ON r.airlineid = META(a).id
WHERE a.country = "France"
```

上記の内容を[Query Edirot]テキストボックスに入力し、[Execute]をクリックします。



画面右端の[Data Insights] 領域には、クラスターが管理しているデータの概要が表示されます。

Data Insights

buckets - scopes - collections

✓ travel-sample	16 collections
✓ _default	
_default	
✓ inventory	
airline	
airport	
hotel	
landmark	
route	
✓ tenant_agent_00	
bookings	
users	
✓ tenant_agent_01	
bookings	
users	
✓ tenant_agent_02	
bookings	
users	
✓ tenant_agent_03	
bookings	
users	
✓ tenant_agent_04	
bookings	
users	

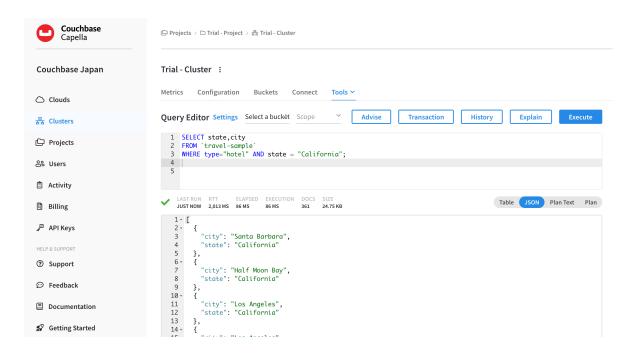
クエリ結果とプランの表示

クエリを実行すると、結果が画面下部の領域に表示されます(大きな結果セットの表示には時間がかかる場合があるため、必要に応じてLIMIT 句をクエリの一部として使用することをお勧めします)。 クエリが完了すると、そのクエリのメトリックがクエリエディターの下(クエリ結果の上)に表示されます

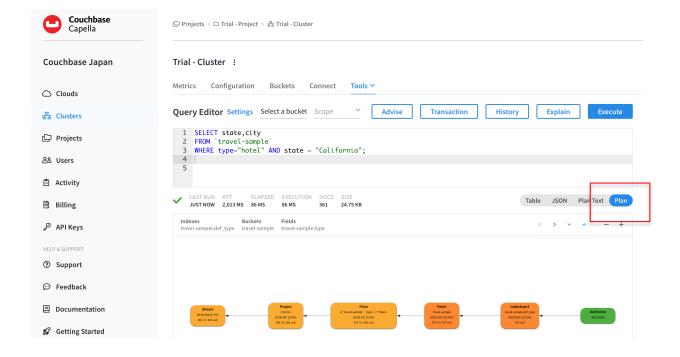
ステップ 2: クエリ ワークベンチで N1QL クエリを実行

クエリ ワークベンチを使用して次の N1QL select ステートメントを実行し、カリフォルニア州のホテルがあるすべての都市を取得します。

```
SELECT state, city
FROM `travel-sample`
WHERE type="hotel" AND state = "California";
```



[Plan]ボタンを押すと、次に示すように、ビジュアルクエリプランを確認できます。



クエリ プラン

クエリが実行されるたびに、EXPLAIN コマンドがバックグラウンドで自動的に実行され、そのクエリのクエリプランが取得されます。



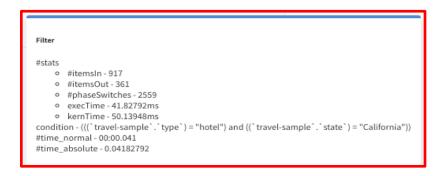
①上部には、概要として、クエリで使用されるバケット、インデックス、およびフィールドのリストが表示されます。

②下部にはクエリ操作のデータフロー図が表示されます。フローを構成するユニットは実行順に、右側から左側に向けて配置されます。高価な(負荷の高い)操作である可能性がある操作が強調表示されます。

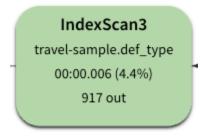
データ フローは、通常、次の手順に従います。

- 1. スキャン
- 2. フェッチ
- 3. フィルター
- 4. プロジェクション (パート 1)
- 5. オーダー
- 6. プロジェクション(パート2)

プラン中の任意のユニットをクリックすると、その詳細が表示されます。



また次のように、クエリに使用されているインデックス (travel-sample.def type) が確認可能です。



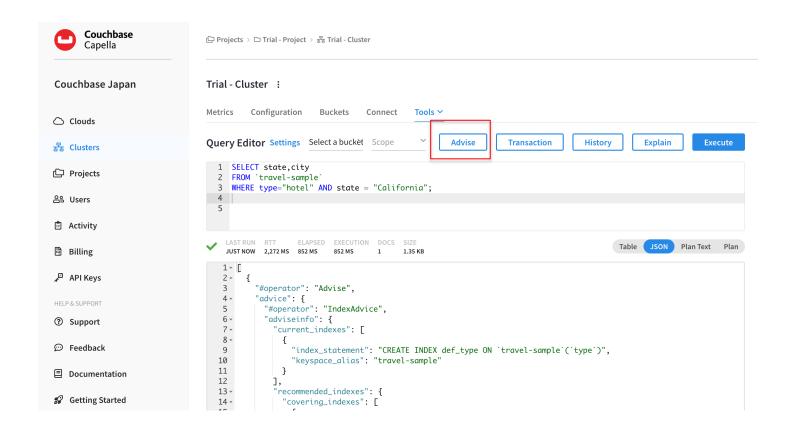
ステップ 3: カバリング インデックスの作成

カバリング インデックス

クエリで指定されたすべてのフィールドの実際の値がインデックスに含まれている場合、そのインデックスの情報は、すでにクエリのニーズを満たしている(カバーしている)ため、Data サービスと連携してデータベース中の値を取得する手順を必要としません。その結果、クエリは高速になり、パフォーマンスが向上します。このようなインデックスはカバリングインデックスと呼ばれます。

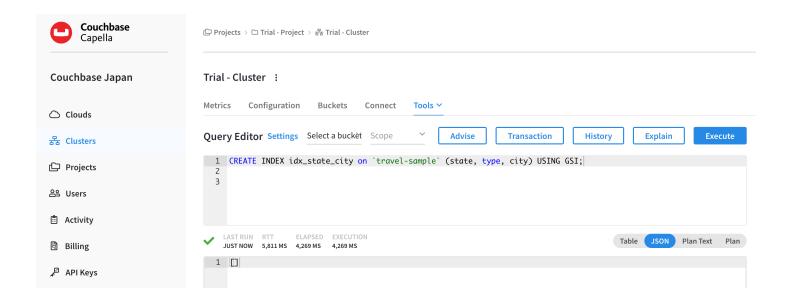
クエリのために、カバリングインデックスを作成する前に、ADVISE コマンドを実行し、"recommended_indexes"セクションを確認してみてください。

```
ADVISE SELECT state, city
FROM `travel-sample`
WHERE type="hotel" AND state = "California";
```



次のステートメントを実行して、州とタイプと都市の属性を持つインデックスを定義します。

CREATE INDEX idx_state_city on `travel-sample` (state, type, city) USING GSI;



ステップ 4: クエリ再実行

クエリワークベンチを使用して次の N1QL select ステートメントを実行し、カリフォルニア州からホテルを持つすべての統計/都市を取得します。

```
SELECT state, city
FROM `travel-sample`
WHERE type="hotel" AND state = "California";
```

[プラン]ボタンを押して、次に示すように、ビジュアルクエリプランを確認します。



クエリは、新しく作成されたインデックス idx_state_city を使用



カバリング インデックスの作成の前と後とで、クエリの実行時間がどのように変化するかを確認してください。